

## 国立大学図書館協会地区協会助成事業 実施報告書

|         |   |
|---------|---|
| 地区名     | 近畿地区（主担当大学：京都大学・大阪大学）   |
| 事業名     | 平成28年度国立大学図書館協会地区助成事業 近畿地区協会講演会<br>「オープンサイエンス推進状況下での大学図書館の役割を考えるーオープンアクセスの推進と研究者IDの動向ー」   |
| 事業目的・趣旨 | <p>第5期科学技術基本計画をはじめ、国の審議会等によりオープンサイエンスを推進する方針が示されており、大学における対応が求められている。大学図書館も、研究支援機能として研究成果のオープン化に係る役割を期待されることが予見される。</p> <p>そのため本講演会では、オープンサイエンスを柱とし、「①オープンアクセス及びデータ保存や研究公正等も含めた活動についての大学図書館への期待」、「②研究者に世界的なIDを付与し、管理・発信していく活動が研究者や大学、大学図書館、そして研究成果のオープン化に及ぼす影響」についての講演、及び「③オープンアクセスを推進する大学図書館の事例報告」によりオープンサイエンスを俯瞰的に理解し、今後の大学図書館が果たすべき役割について考察する機会とした。</p>  |
| 実施内容    | <p>○文部科学省科学技術政策研究所にてオープンサイエンス政策に取り組んでおられる上席研究官の林氏、国立情報学研究所にて図書館情報学分野のシステム研究開発に従事され、学術コミュニティーに不可欠な情報サービスの開発を進めておられる蔵川特任准教授にご講演いただき、また京都大学のオープンアクセス推進の取り組みについて事例報告を行った。</p> <p>○構成</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 日時：平成28年10月21日（金）14：00～17：00</li><li>2. 場所：京都大学吉田南構内人間・環境学研究科棟地下大会議室</li><li>3. 対象：大学図書館職員およびテーマに関心のある方（一般公開）</li><li>4. プログラム：<ol style="list-style-type: none"><li>① 開会挨拶：京都大学図書館機構長</li><li>② 基調講演1（45分）「オープンアクセス、オープンサイエンスの展望と研究データ利活用促進ならびに大学運営から見た大学図書館への期待」 文部科学省科学技術・学術政策研究所 科学技術予測センター上席研究官 内閣府オープンサイエンスフォローアップ検討会構成員 林和弘氏</li><li>③ 基調講演2（45分）「研究者識別子と名寄せーオープンサイエ</li></ol></li></ol> |

|   |   |
|---|---|
|   | <p>「インフォメーション時代の学術情報環境の構築―」 国立情報学研究所学術コンテンツ課特任准教授 蔵川圭氏</p> <p>④ 事例報告 (15分) 「京都大学のオープンアクセス推進の取り組み」 京都大学附属図書館学術支援課課長補佐 富岡達治氏</p> <p>⑤ 質疑応答</p>  |
| <p>事業の成果<br/>(アンケート調査結果、事業への意見・感想等)</p> | <p><b>【参加者数】 85名</b></p> <p><b>【参加機関】</b> 大学 29校 (京都大学含む)、その他の研究機関 5機関、企業等 2社</p> <p><b>【概況】</b></p> <p>京都大学内、近畿地区内にとどまらず、他の地区からも参加があり、本講演会のテーマへの関心の高さが伺えた。アンケートには「オープンアクセス、オープンサイエンスについて、図書館にとどまらない大きな文脈で説明があり理解が深まった」、「研究者識別子が複数存在する現在の状況や今後の方向性について情報を得られ有意義であった」などの意見が寄せられ、大変好評であった。また、事例報告に対しても実務的な質問が多数寄せられ、有意義な情報提供の機会となった。</p> <p>講師と参加者による意見交換も活発に行われ、図書館の使命はどのような時代にあっても「学術環境を整える」ことであるという基本姿勢を持ち続けることが重要と再認識することができ、またオープンサイエンスの流れを、図書館の新しい役割をデザインする好機ととらえるべきであるという認識を共有することができた。</p> <p><b>【アンケート結果】</b> アンケート回答数：56名 (回答率：65%)</p> <p>&lt;1.参加者の所属&gt;</p> <p>a) 京都・大阪大学図書系職員 27名<br/> b) 図書系職員以外の京都・大阪大学職員 2名<br/> c) 京都・大阪大学教員 0名<br/> d) 京都・大阪大学以外の大学職員 4名<br/> e) 京都・大阪大学以外の大学教員 0名<br/> f) 企業 1名<br/> g) 京都・大阪大学以外の図書館職員 21名<br/> h) その他 1名</p> <p>&lt;2.本講演会を知った情報源 (複数回答可) &gt;</p> <p>a) 国立大学図書館協会参加館への案内 16名<br/> b) 大学図書館近畿イニシアティブ参加館への案内 12名<br/> c) 京都大学ホームページ 1名<br/> d) 学内掲示 (ポスター) 0名</p> |

(別紙様式3)

|    |  |
|----|--|
|    | e) 京都大学図書館職員メーリングリスト (Staff-ML) 18名<br>f) 京都大学図書系職員研修ページ 3名<br>g) 知人からの紹介 5名<br>h) その他各種メーリングリスト 1名<br>i) その他 4名 |
| 経費 | 金60,640円<br>(内訳)<br>講師旅費(林氏) ￥30,320 (京都大学旅費規程による)<br>講師旅費(蔵川氏) ￥30,320 (京都大学旅費規程による)<br>合計 ￥60,640              |